

人材育成研修「初級者」 谷山会場  
満足度アンケート結果 1. -①

1部 認知症の基本的知識

5 満足	50
4	30
3	4
2	1
1 不満足	0

2部 対人援助のケアの技術

5 満足	47
4	32
3	5
2	1
1 不満足	0

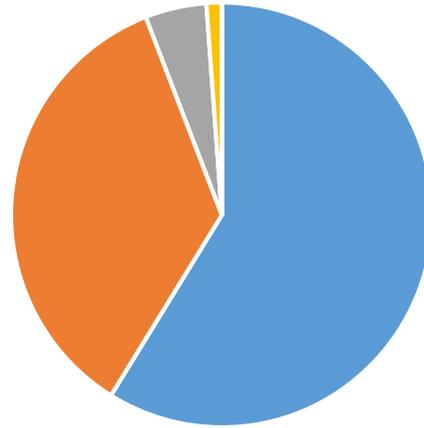
3部 身体観察の基本的知識

5 満足	49
4	27
3	9
2	1
1 不満足	0

4部 プロフェッショナルな介護職になるために

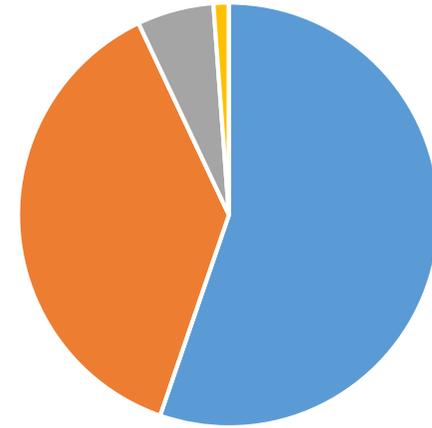
5 満足	58
4	15
3	6
2	1
1 不満足	0

認知症の基本的知識



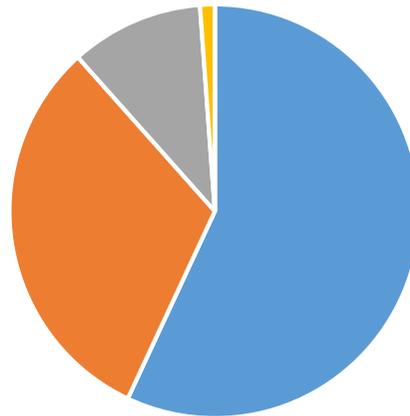
■ 5 満足 ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1 不満足

対人援助のケアの技術



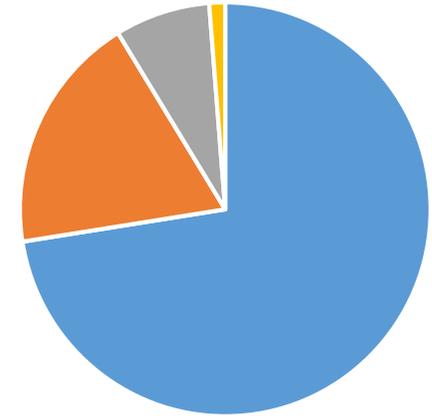
■ 5 満足 ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1 不満足

身体観察の基本的知識



■ 5 満足 ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1 不満足

プロフェッショナルな介護職になるために



■ 5 満足 ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1 不満足

## アンケート結果

### 1. ② 印象深く学べた部分を具体的に教えてください。

- 中核症状について、事前課題を行った事例について、その利用者様の中核症状は何なのか、どのような対応をしたら良いのかを細かく学べた。
- 中核症状を覚えたのでよかったです。
- 認知症利用者のケア
- 中核症状と B P S D, しっかり自分のものにしてケアにつとめたい。
- 認知症に関する研修は、くわしく分かりやすかったと思います。
- 日々のケア振り返りができました。
- パーソン・センタード・ケア
- 認知症は治らない病気だということ！！
- 「認知症」の人から、認知症の「人」へ
- 認知症ケアの心得（明るい気持ちをもって）
- 認知症の中で、中核症状や B P S D を使ったグループワーク
- 認知症を見るのではなく、人を見る。
- 利用者の中核症状を知ることが大事。
- その人を知って、関係性を深めていく。
- 中核症状をよく知り、しっかり利用者に向き合っていきたいです。
- 増悪因子がなければ、B P S D はでない。
- 中核症状の見極め。
- 認知症とは何か考えると、しっかりと答えられない自分に気づきました。もうちょっと学んでしっかり覚えて、すぐ答えられる人になります。
- 中核症状について深く考えたことがなかった。
- 認知症の中核症状を知ること、ケアに工夫ができる。
- 中核症状に対しての個別のケア
- その人の生活歴、中核症状を知り、認知症ケアを行う事が出来ると共に相手への思いやりと尊重、尊厳を持ち人間らしい生活が送れる事が出来るようにさせたい。
- 中核症状をしっかり把握して、利用者 1 人ひとりのケアをしていくこと
- 中核症状と周辺症状
- 入浴拒否や食事したことを忘れてしまう利用者への対応の難しさ。
- 原因がわかれば、認知症のケアが変わる。なんだかいつもと違う。
- 認知症ケアの基本的知識は、認知症の症状について考えながら、色んな人の意見を聞いて色々と勉強になりました。
- 利用者の気持ちを尊重したうえで、介護するということ。

- 中核症状を知ることに関わりが違ってくるものと学んだ。明日からこのことを頭に入れてケアしていきたい。
- 認知症の中核症状や、認知症の方の気持ちに寄り添う大切さを教えてもらえたこと。
- 認知症の深い知識
- 認知症のことを改めて再認識し、つい介護者中心のケアになっていたことを反省しています。利用者のことをよく知る必要があると思いました。
- 中核症状の勉強が、いちばん役になりました。
- 専門家としての視点
- 認知症の基本的知識を学んだ後、ケアの技術を見直すと今迄の介護の仕方を、再度考えないといけないと思いました。
- 認知症におけるケアの基本的知識では、奥深く考えることができた。
- 介護者のおしつけではなく、介護される側になり工夫する。
- 入居者に対して日頃の声かけ、ケアの仕方。介護者の接し方で認知症の症状の悪化を防げる。
- 中核症状を知ること、ケアの見方が変わる。
- 転倒した入居者へのアプローチをBS法により意見を出し合い、救急搬送までの流れをつかんだこと。
- 身体観察時のバイタルの測り方、視診の大切さを改めて知れた。
- 個々の病歴等を考慮しながら、今後は活かしていきたい。
- 身体観察の基本的知識、ポイントがわかってよかったです。
- バイタルチェックの基本
- 利用者さんのことを、よく観察しケアにつとめたい。
- 応急処置の方法、バイタルのやり方等学べたと思う。
- 先生方のもとてもわかりやすい、看護の仕方を教えてもらい、とても勉強になりました。
- 応急処置
- ショック状態の対応（挙足など）
- 体温調節の難しい方がおられ、熱発が多い為、対応にいつも不安を持っていた。
- バイタルサイン
- 身体観察の基礎知識
- 身体観察の知識が欠けているので、この機会に知識を深めたい。
- 急変時対応の手順と心構え
- 高血圧、糖尿病等、合併症を持った入居者の方が多かったり、転倒した時等の注意すべき点を細かく学べた点は大きい。もう少し時間があってもよかった。
- 日頃の状態チェック
- 身体観察の基本的知識は、普段習うことのない看護の知識を学べて、色々と勉強になりました。
- 記録の作成
- 緊急時のケアについて、とても勉強になりました。
- 医療上のことは役立つと思います。

- 身体観察の基本的知識は、頭に入れておくことで、少しでも早く対応していけるので、とても勉強になりました。
- バイタルサインについて学べた。
- 数値(バイタル等)は日常の中で流してしまっていたが、大切と、思いを新たにした。
- 身体観察全般、病気について
- 転倒した高齢者に対して対応の手順
- 全体的に満足した、特に、身体観察の基本的知識は、すごく勉強になりました。
- バイタルチェックの見かた(観察の仕方)
- 医療分野を学ぶことが出来た。(身体観察の基本的知識)介護では限界があるので、もっと知りたいと思った。
- 日常生活の様子を観察する事は大切だと思っていたが、具体的に観察のポイントがわかったのでよかった。
- プロフェッショナルな介護職で仕事をしながら、1人ひとりとしっかり心の支えになれるようにする。
- プロフェッショナルな介護職になるための講義・・・よかったです!
- 「プロフェッショナル」な介護職について、今までの自分の姿を比べることができ、見直せた。
- プロフェッショナルな介護職
- プロフェッショナルな介護職で自分の対人関係を見直しました。機会を頂けて嬉しかったです。ありがとうございました。
- 対応の仕方
- 介護職のプロ意識を育むこと、大切さと作業の介護でなく、人と人の個として人間性の繋がりの大切を学んだ。
- 自分のあり方を考えさせられました。
- 今の自分を受け入れ、人を恐れない。
- プロフェッショナルな介護のためにできる事
- プロフェッショナルな介護職になるために
- 介護職は忙しい。人が足りない中でのスキルを上げる。
- 介護職→引かかる場合→自分の価値観の中で(葛藤)見直す。
- 教えられ方にも工夫があること。根拠のある指導をすること。
- 全部の内容がプロフェッショナルな介護職になれる為の事と理解し、全部しっかり頭や心に詰めて、業務に勤めたいと思います。
- ご飯を食べてないという、認知症の対応
- 中核症状やBPSDや血圧の測り方がためになり、プロフェッショナル勉強は、もっと勉強したいです。
- プロフェッショナルになるには、まだまだ遠いですが、頑張ります。
- プロフェッショナルな介護職では、似たような状況で分かりやすく考えやすかった。
- 説得力が無い事は、根拠がないという事
- プロフェッショナルな介護職とはを、心に留めて頑張りたいと思いました。
- 自分のきもち、新人の時に戻って明日から仕事に行きたいと思います。

- 認知症のある方に対してのエビデンスのあるケア
- グループワークをすることで、1つの意見から様々な可能性が生まれることを実感した。
- とてもわかりやすかったです。
- 認知症による知識や、グループホームで他の施設の対応法など学べてよかったと思う。
- B S法、ホームでも行っているの、よりわかりやすかった。
- 普段の仕事で、疑問に思っている事をたくさん研修で学ぶ事が出来ました！！知識不足と経験不足を感じました。
- 各講師の方のお話、大変参考になりました。今後の介護に役立てられたらと思います。また参加したいです。
- 改めて認知症の方について考える事ができて、勉強になりました。
- 認知症の方のかかわり方を、もう1度考えていきたいです。
- B S法で他のグループホームの方々の話を聞くことで、いい勉強させて頂きました。
- 楽しく分かりやすい研修でした。
- 講師の方々が笑顔多くステキでした。
- 資料は持ち帰るに当たり、良い資料です。
- うつ病の疾患のため、苦しく思える発言がありました。
- 介護職で働いていくという覚悟を決めさせてもらうことは、できません。
- 「できている方も多くいると思いますが・・・」等の言葉を使っていたかないと、責められている気分になってしまいます。
- 基本的な面から初めて学んだこともあり、勉強になりました。
- 認知症について知っている部分もあったが、より深く勉強できた。もっと認知症について学びたいと思えた。
- 認知症における中核症状、個人1人ひとり様々な症状があるということ、身体観察においては、転倒、骨折における見守り行動のとり方、また、糖尿病など、また、合併症など、バイタルチェック（サイン）は命につながるということ。
- 自分本位でない介護を学べました。
- 認知症について、少しですが知識を持てた気がした。
- 日頃の観察の大切さ、介護職としてのプロ意識を持つ。
- グループワークが多かったので、集中できたと思います。普段とは違った環境で良かったと思う。
- 認知症の知識や利用者に対する接し方が学べた。
- 認知症とは・・・の研修において、基本的な知識が学べ、また、現在悩んでいる対人関係に、自分をかえる事がプロフェッショナルな介護であると強感させられました。
- 何回聞いても、時間が経つと忘れてしまう。思い出しながら対応の仕方、考え方が少し判った。

## 2. 研修全般で気になった部分（迷ったり不快を感じたりした部分）を教えてください。

- 予定より時間がかかっていた。時間が過ぎているのに話続けていた。
- 研修にこられて本当によかったです。
- 体温計での検温時、自信を持つ。
- 席の配置、場所によってはスクリーンが見づらい。
- バイタルサイン（日頃、何気なく体温、血圧測定していたが、正しい測り方を再確認していきたい。
- 席替えの指示が不透明だった。
- 席替えに戸惑った。
- 席替えは必要だったのか
- とても勉強になりました。有難うございました。
- 身体観察の部分をもっと詳しく知りたかったです。自分のやり方が間違っていた！と思う部分が多々ありました。
- 理想と現実に悩まされる日々です。他スタッフにどういう風に伝えようかと思いません。
- グループワークは、最初とても緊張しましたが、いろいろみんなの意見が聞けて楽しかったです。
- 勉強になりました。
- チームとチームの席が近いのが気になりました。
- 文章見るとわかったつもりでも、まったく暗記しているだけでは、勉強になっていないことを痛感する。
- 席替えがほんの少しだけ残念だった。（仲良く会話できていた為）
- 途中での席替えがありがたかったが、時間がもったいない。
- 参加者に名札があればと感じた。
- 午前中の研修、1時間に1回トイレ休憩ほしかった。
- 身体観察、写真が小さくて、あまり分かりにくかった。（声を聞いて、資料を見ると分かりますが）

### 3. 今後、協議会の研修参加にどのようなことを期待しますか？

- また、お願いします。
- 今後も研修会に参加したいので開催してほしいです。
- 色々な分野で研修をお願いします。
- このような研修を、次もお願いします。
- これからもこのような研修をして知識を教えてください。
- これからもいろんな研修に参加したいので、よろしくお願いします。
- 介護職員対象の医療分野の研修が増えてほしい。
- 他の施設の方とお話が出来たので、今後もこのような研修を増やしてほしい。
- 今後このような研修を続けて頂きたいです。ありがとうございました。
- 時間短縮と交通の便の良い会場
- これからも楽しく、わかりやすい研修をよろしくお願い致します。本日は、ありがとうございました。^\_^
- たくさんのスタッフが参加できれば良いと思います。
- このような機会がもっとあったらいい。
- GWはとても良いと思いました。発言のとびかう楽しい研修にもっともっとしてほしいです。古城さん（奥さん）おもしろかった（^v^）
- もうすこしかみくだいて、分かりやすい、頭に入りやすい、資料、教え方を希望します。
- 認知症ケアの基本的知識の研修を増やしてほしいです。
- もっと、いろいろな研修をお願いしたいです。
- 今後もこのような、介護についての知識等の研修を増やしてほしい。
- 今回のような研修、また開いてください。
- 認知症の人のケアをする中で、困る場面での対処など話し合う機会があればよいなと思います。
- 初級から中堅への研修、リーダー職未満の！
- 定期的な研修回数を増やしてほしい。
- 事例をあげて、対処法などの徹底講義を行ってほしい。
- どんなことでも学びたいです。
- もっと研修を計画して頂きたい。
- 大変勉強になりましたが、益々の研修活動を期待しています。
- これからはもっと、こういう機会を頂けたらと思っています。
- 若い介護職員を多く育てる様、がんばって下さい。
- 介護職の人数、給料を上げてもらいたい。